

# 株式会社バイテックホールディングス



2018年3月期  
第2四半期決算 説明資料

## 【決算のポイント】

(単位:百万円)

売上高	全事業で伸長した結果、前年同期比増加率40%を達成
経常利益	環境エネルギー事業が牽引し、前年同期比増加率は70%
ROE	利益寄与により前年比5.2pt改善し、資本効率が向上

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	対前年同期比 増減率	2018年3月期 通期目標
売上高	63,449	89,384	40.9%	188,000
売上総利益	4,926	5,977	21.3%	—
営業利益	1,266	1,950	54.0%	3,250
(営業利益率)	(1.9%)	(2.1%)	—	(1.7%)
経常利益	1,007	1,713	70.1%	2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	603	1,212	100.9%	1,800
1株あたり当期純利益 (EPS)	43.94円	85.87円	—	126.52円
自己資本利益率 (ROE)	10.3%	15.5%	—	—

※PL換算レート(円/米ドル):2016/9期 106.43円、2017/9期 111.42円(期中平均)

(業績修正有 P8参照)

# 貸借対照表の推移

【ポイント】

(単位:百万円)

<b>資産</b>	<b>現預金20億、売上増に伴い売上債権53億・棚卸資産32億増加</b>
<b>負債</b>	<b>仕入債務33億、借入金97億増加（運転資金需要等）</b>
<b>純資産</b>	<b>利益剰余金7億増加</b>

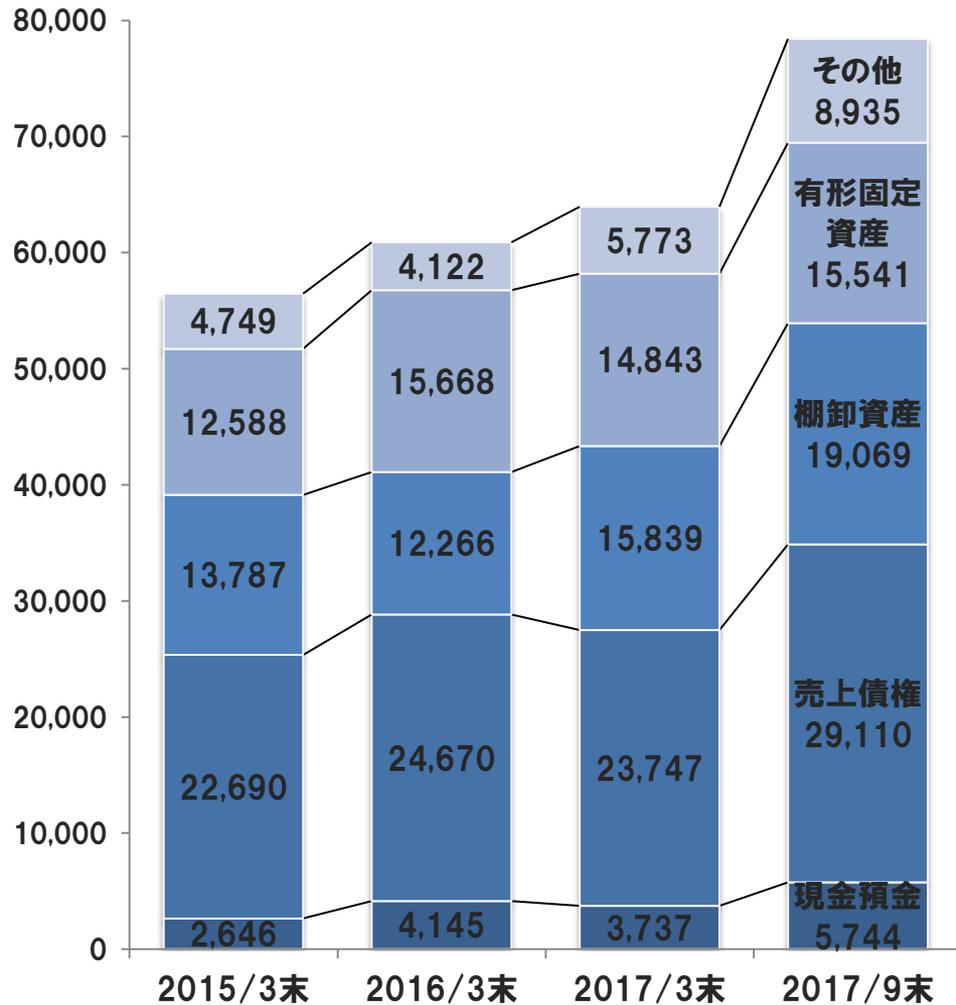
	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2017年9月末	対前期末増減額
流動資産	40,508	42,173	45,435	58,084	12,648
固定資産	15,952	18,698	18,503	20,314	1,811
資産合計	56,461	60,871	63,939	78,399	14,459
流動負債	32,684	33,684	35,841	49,143	13,301
固定負債	10,618	13,821	12,965	13,161	195
負債合計	43,303	47,505	48,807	62,304	13,497
純資産合計	13,157	13,365	15,131	16,094	962
負債純資産合計	56,460	60,871	63,939	78,399	14,459
自己資本比率	23.3%	21.8%	23.0%	20.0%	—

※BS換算レート(円/米ドル):2017/3月 112.19円、2017/9月 112.73円(期末)

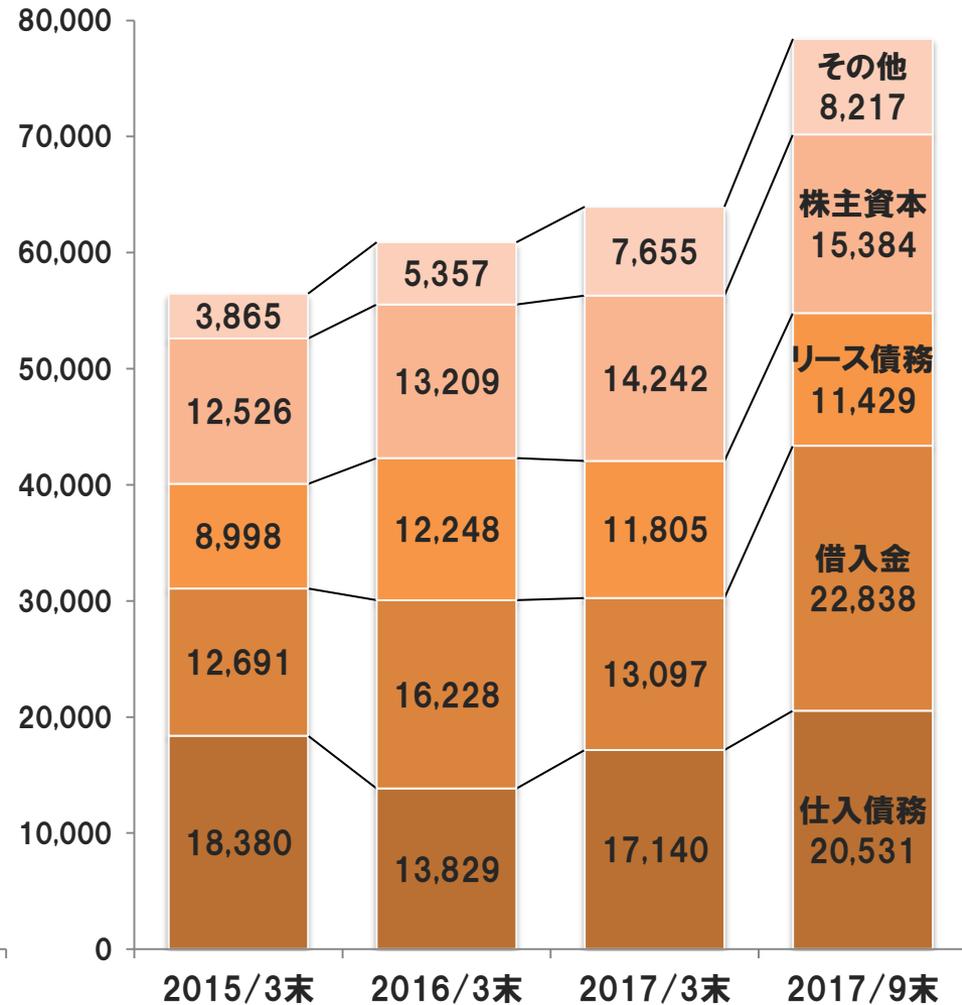
# 貸借対照表(主要科目)の推移

(単位:百万円)

## 資産



## 負債・純資産



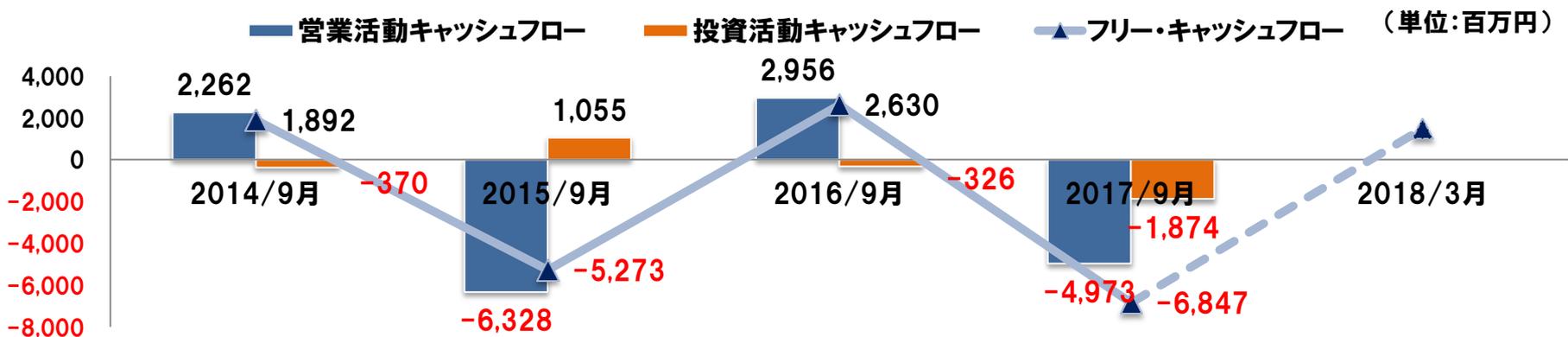
※借入金、リース債務は短期、長期の合計

# キャッシュ・フローの状況

## 【ポイント】

営業活動によるキャッシュ・フロー	税引前四半期純利益の増加、売上債権、棚卸資産の増加
投資活動によるキャッシュ・フロー	有形固定資産、投資有価証券の取得による支出
財務活動によるキャッシュ・フロー	短期借入金の増加、自己株式の売却による収入

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	対前年増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,956	▲4,973	▲7,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲326	▲1,874	▲1,548
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,467	8,747	10,215
現金及び現金同等物の期末残高	5,146	5,744	598

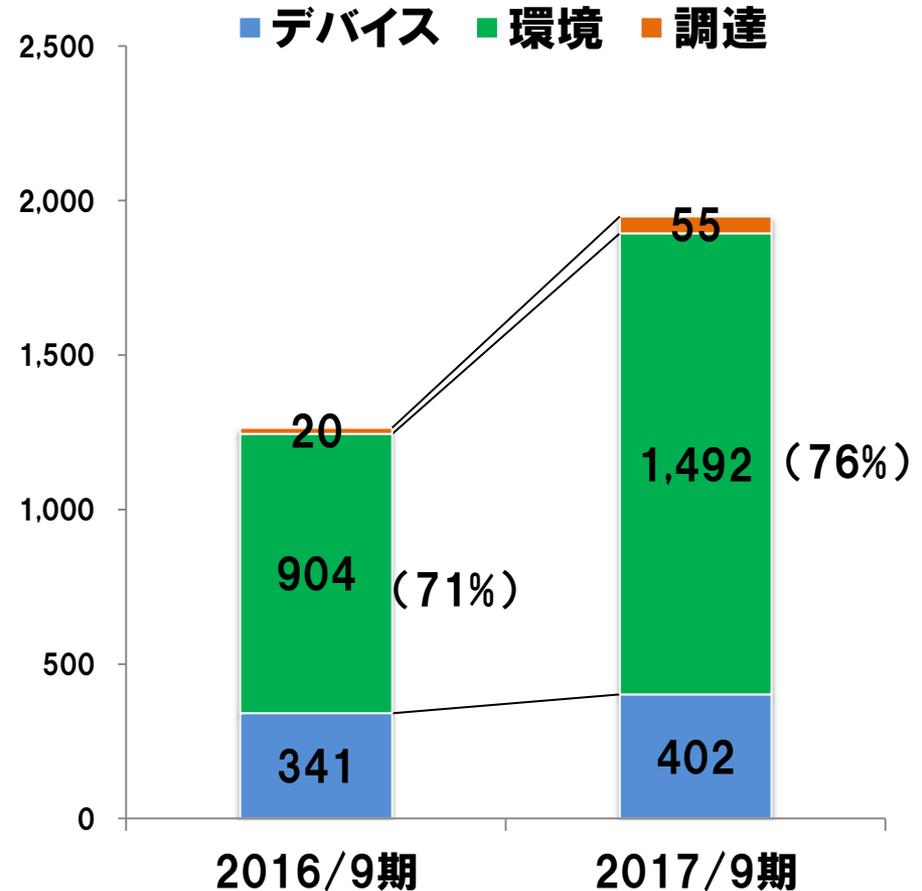
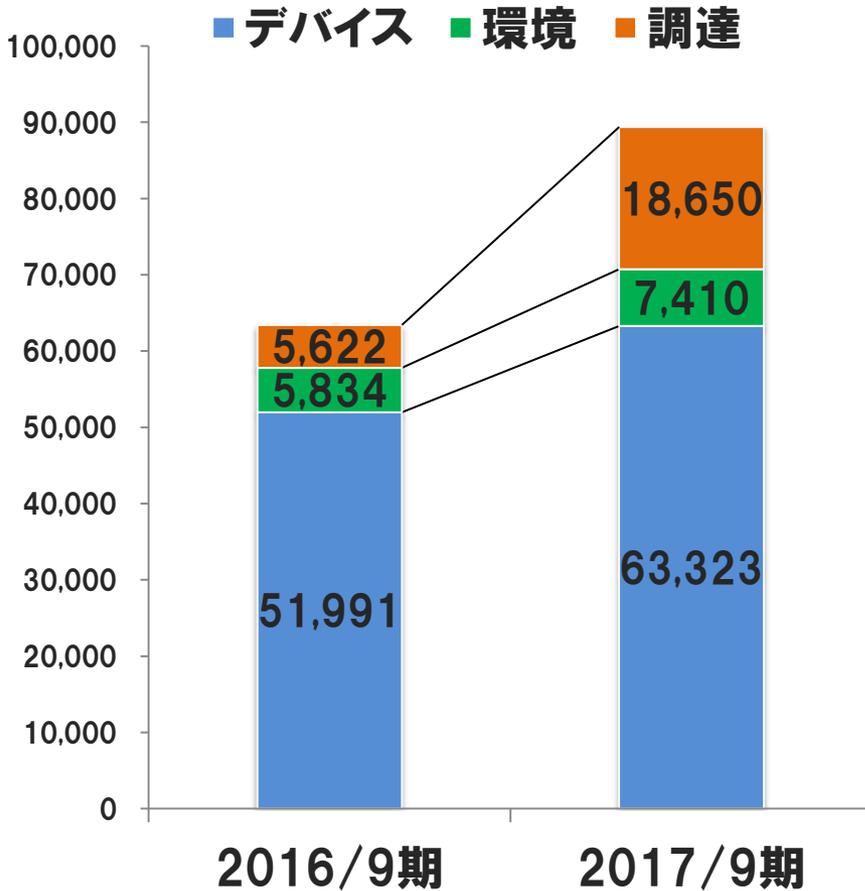


※フリーキャッシュ・フロー=営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー

## 売上高

## セグメント利益

(単位:百万円)



### 【トピックス】

- デバイス : イメージセンサー、メモリの売上が回復伸長
- 環境 : 売電小売、メガソーラー事業における売上の伸長
- 調達 : 輸入部材の取引拡大、PC用部材の売上の伸長  
パナソニック以外の調達ビジネスもスタート

### 【トピックス】

環境事業の営業利益は前年比165%と大きく伸長し、全社営業利益率の改善に貢献 (営業利益構成比 76%)

※セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

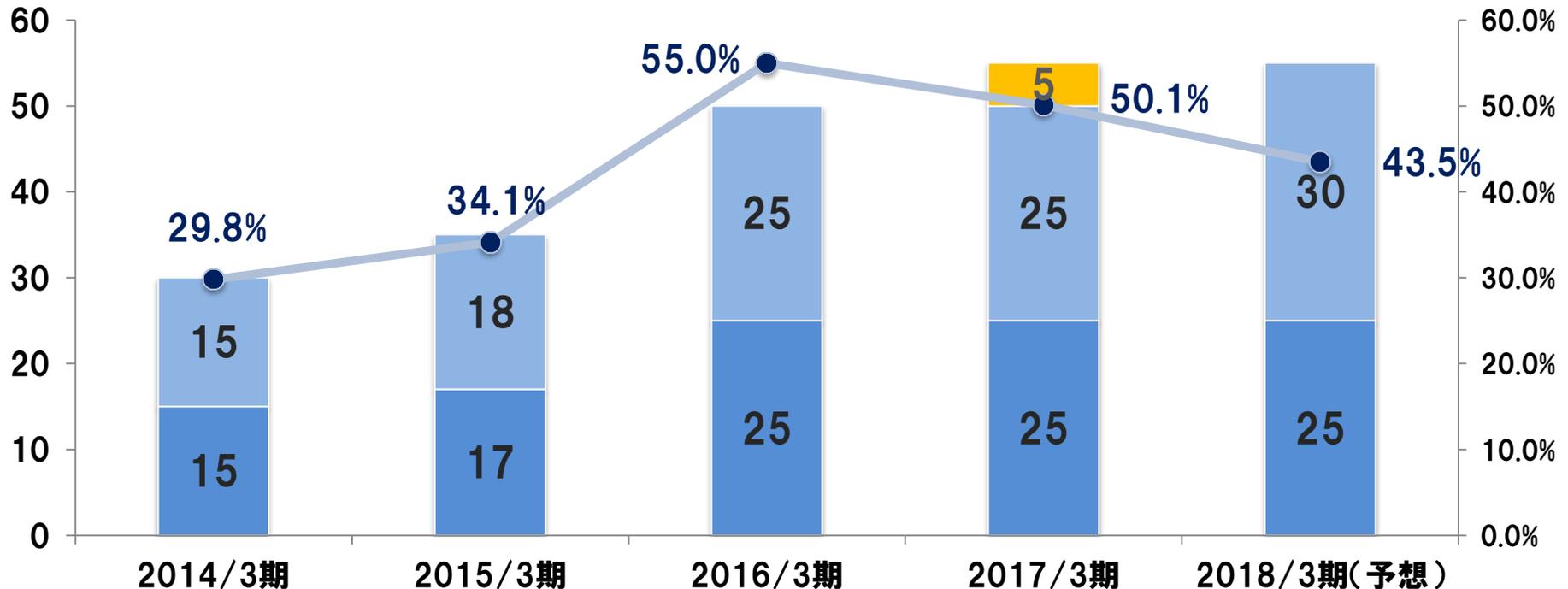
## 【配当に関する基本的方針】

- 安定的かつ継続的な利益還元を経営の重要施策として位置づけております。
- 連結配当性向30%以上を目安としております。

## 【一株あたり配当金】

(単位:円)

■ 中間 ■ 期末 ■ 記念配当 ● 配当性向



# 業績予想の上方修正

【ポイント】

(単位:百万円)

売上高	デバイス事業のイメージセンサー、メモリ製品の回復伸長
	環境エネルギー事業の電力小売等の増加
利益	環境エネルギー事業の売電、電力小売、パネル販売等の増加

【前回予想 8月7日】

【今回予想 11月7日】

	2018年3月期 上期予想	2018年3月期 通期予想
売上高	87,000	170,000
営業利益	1,680	3,000
(営業利益率)	(1.9%)	(1.7%)
経常利益	1,470	2,200
親会社株主に帰属する 当期純利益	940	1,600
1株あたり当期純利益 (EPS)	66.85円	116.23円
1株あたり配当金(円)	25円	55円



	2018年3月期 上期実績	2018年3月期 通期予想
売上高	89,384	188,000
営業利益	1,950	3,250
(営業利益率)	(2.2%)	(1.7%)
経常利益	1,713	2,500
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,212	1,800
1株あたり当期純利益 (EPS)	85.87円	126.52円
1株あたり配当金(円)	25円	55円

# 環境エネルギー事業の進展

## 発電事業の拡大と利益の最大化

### バイテックソーラーエネルギー



電源の有効活用

新電力事業 V-Power

## メガソーラー新規案件の継続発掘

効率化・管理徹底による利益最大化(発電・保守)

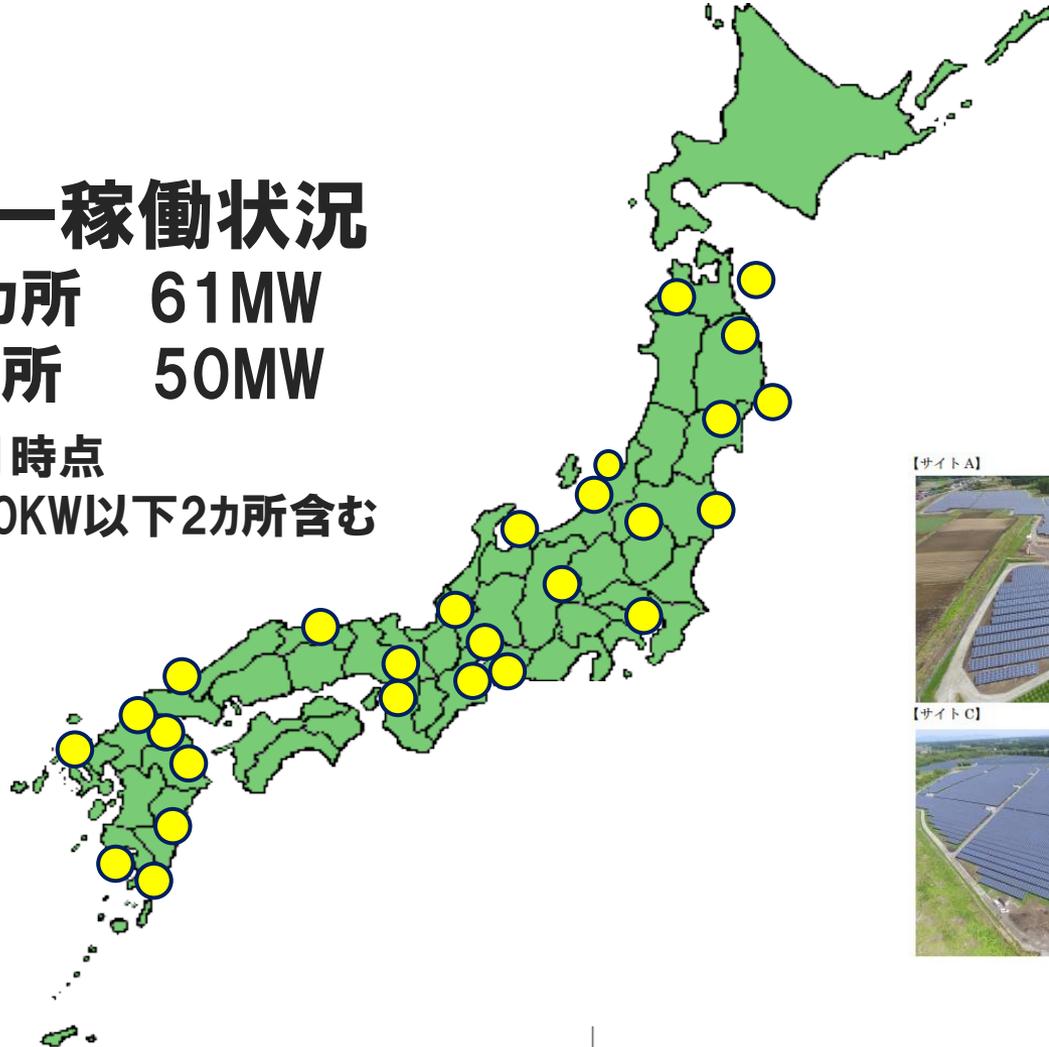
### メガソーラー稼働状況

高圧 36カ所 61MW

特高 3カ所 50MW

※2017年9月時点

小規模500KW以下2カ所含む



### 六戸ソーラーパーク (22,090MW)

【サイトA】



【サイトB】



【サイトC】



【周辺図】



## 植物工場の全国展開



2017年10月13日  
バイテックファーム七尾 出荷式の様子



バイテックファーム大館

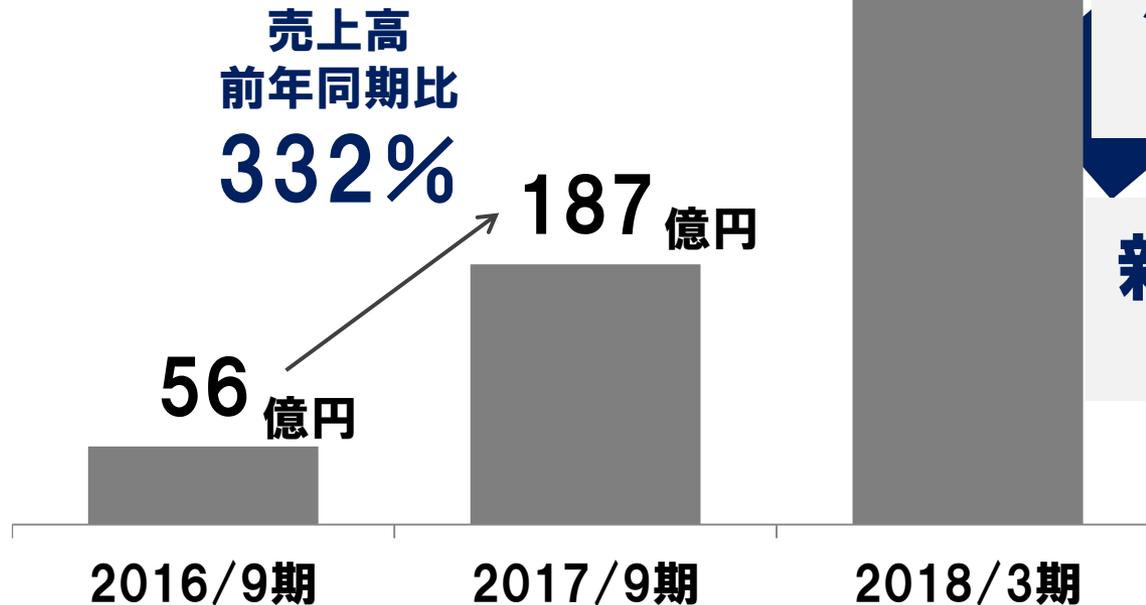


# 調達事業の進展

## 商流・物流の集約化

### パナソニックビジネス の伸長

車載向け液晶、パソコン用部材  
冷蔵庫・給湯機用コンプレッサー 等



パナソニックモデル  
の横展開

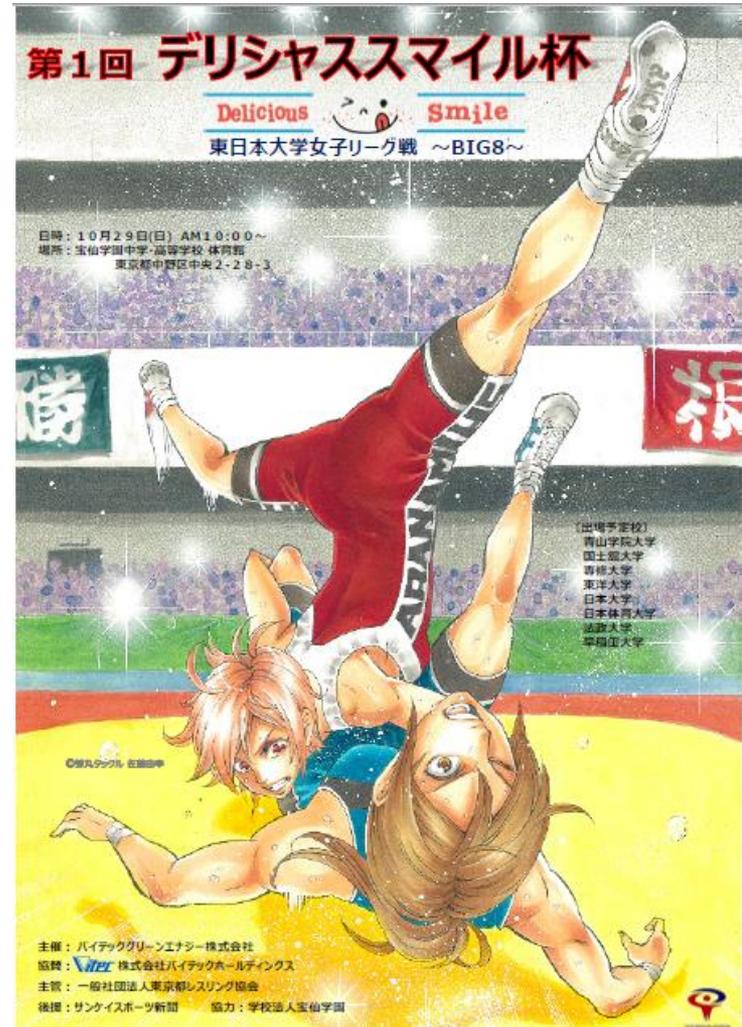
新規ビジネスの創出  
(金型・EMS活用 等)

# 社会貢献の進展

## 植物工場野菜ブランド デリシャススマイル



## 大学女子レスリング大会 冠スポンサー(10月29日)





## エネルギーマネジメント集団として独自の提案

- バランシング事業
- 地域新電力
- プレミアプラン

寄付つきでんき「わんにゃんプロジェクト」



2016年3月期	6月	監査等委員会設置会社へ移行 持株会社体制への移行
	10月	V-Lowマルチメディア放送事業へ参画、アマネク社との資本提携 Telit代理店契約
	11月	指紋認証モジュールの販売開始 特別高圧7MW稼働(兵庫県三田市) 特別高圧21MW稼働(岩手県滝沢市)
	12月	野菜販売専門会社設立
	1月	TWPGの連結子会社化
	3月	NTTドコモ等4社共同開発製品発表会 韓国事務所 法人化
	2017年3月期	4月
5月		テクノアルファとの業務提携
10月		VISTEL (TEDとの技術合併会社) 事業開始 ViMOS (独FRAMOS社、台湾WPGグループとの合併会社) 設立合意
2月		記念配当のお知らせ 菱熱工業との資本提携(第三者割当)
5月		台湾WPG Holdingsとの資本提携(第三者割当)
2018年3月期	8月	六戸ソーラーパーク(特別高圧)運転開始
	10月	第2号植物工場(石川県七尾市)出荷式典
	10月	JIG-SAWグループとインダストリアルIoT分野で業務提携
	10月	当社グループ冠スポンサーによるデリシャスマイル杯開催のお知らせ

## **◇ 将来の見通しに関する注意事項**

**このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。**

**実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。**

**実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。**